

南越前町小・中学校の結果概要と対策

今年4月17日に全国学力・学習状況調査を南越前町内の小学校6年生90名、中学校3年生110名を対象に行いました。今年度は、国語と算数・数学、理科の3教科での実施でした。調査結果については、昨年までと同様、児童生徒の学習状況の改善に役立てるとともに、教育委員会や学校が保護者や地域の皆様と一体となって協力し合うことで、学習効果を一層高めることを目的として公表いたします。

1 南越前町全小・中学校の学力調査の結果 (福井県および全国との比較)

小学校(4校)	教科	領域	本町の結果		中学校(3校)	教科	領域	本町の結果	
			県比較	全国比較				県比較	全国比較
	国語	A(知識)	同程度	上回る		国語	A(知識)	同程度	上回る
		B(活用)	同程度	上回る			B(活用)	同程度	上回る
	算数	A(知識)	同程度	上回る		数学	A(知識)	上回る	上回る
		B(活用)	同程度	上回る			B(活用)	上回る	上回る
	理科	*	同程度	上回る		理科	*	同程度	上回る

*調査の結果は、平均正答率として出ますが、学校の特定や序列化などへの懸念もあり、全国上位の福井県、そして全国との統計的な比較のもと、小学校中学校ごとにまとめて「上回る」「同程度」「下回る」と表しています。

2 学力調査と学習状況調査の関連から

〈「当てはまる」と答えた児童生徒と、「当てはまらない」と答えた児童生徒の平均正答率の差〉

(この数字は、3教科5調査の平均を表しています)

全般	○自分には良いところがあると思う	23.1%
	○夢や希望を持っている	4.4%
	○決まりはしっかり守っている	22.6%
家庭では	○毎日、よく似た時間に寝てよく似た時間に起きている	12.0%
	○予習や復習をしている	8.8%
	○家で、計画を立てて勉強している	2.7%
学校では	○課題解決に向けて自分から進んで取り組んでいる	6.5%
	○話し合う活動では、自分の考えを深めたり広げたりしている	14.8%
	○資料や文章、話の組み立てを工夫して発表している	8.5%
地域では	○地域の行事に参加している	4.4%
	○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	11.1%



〈以上のことから考えられること〉

- *規則正しい生活習慣を身に付けている子は学力も高い傾向にあります。生活のリズムがしっかりとれていることが学習に対する取り組み方や集中力の持続といった点に影響している事が考えられます。
- *自らの意見の理由を述べたり考え方の説明をしたりする活動を意図的・継続的に取り入れることで文章を書いたり構成したりする力を身に付けていく必要があります。
- *学校での様々な教育活動において「自己肯定感」「自己有用感」を持たせることが学力を伸ばすという点において大きな影響があるようです。様々な活動の中で、「認め・褒めて伸ばす」指導を継続していく必要があります。
- *日頃から、地域や家庭でも大人が積極的に関わり、温かく優しい言葉をかけることが子どもの自己肯定感や自己有用感を伸ばすことになり、学力の向上にもつながっていくのではないのでしょうか。

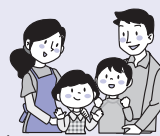
3 今後の対策

(1) 学校での取組み

- 充実した学校生活の実現に向け、家庭と連携して基本的な生活習慣・学習習慣をより一層徹底していきます。
- 指導体制・支援体制を見直し、分かりやすい授業が実施できているかどうか再検討し、授業改善をしていきます。
- 自分たちで考え(企画)・行動(運営)していくような活動の場面を増やし「自己肯定感」を養っていきます。

(2) ご家庭にお願いしたいこと

- 規則正しい生活習慣を身につけさせてください。
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化をお願いします。
 - ・テレビやゲーム・スマホは、ルールを決めて使うようにお願いします。
- 家庭学習の時間は、自分で目標を決め、毎日一定時間を確保させるようにしてください。
 - ・個々の実情に応じ、「読書」や「新聞を読む」時間も盛り込みながら計画的に取り組ませてください。



(3) 地域にお願いしたいこと

- 普段から地区の子どもたちに「おはよう」、「気をつけていってらっしゃい」、「おかげで、助かるよ」、「それはダメだよ」など、温かい言葉掛けをお願いします。
- 地区の行事は、子どもたちにとって役割があり、人から頼りにされ、自分も役に立っているという自覚が持てる「居場所づくり」の場となるようにしてください。



地域・ご家庭でのご協力を是非お願いします。なお、詳細は今後、町ホームページに掲載していきます。

問合せ 教育委員会 ☎ 47-8005